

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11331436 A**(43) Date of publication of application: **30 . 11 . 99**

(51) Int. Cl.

H04M 11/08
G06F 13/00
H04M 1/274

(21) Application number: **10140570**(71) Applicant: **NEC CORP**(22) Date of filing: **07 . 05 . 98**(72) Inventor: **KOYAMA AKIRA**

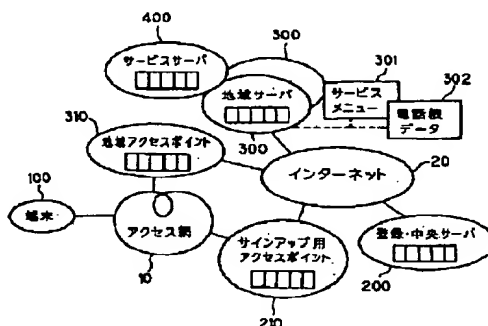
(54) **COMMUNICATION TERMINAL EQUIPMENT AND
 COMMUNICATION TERMINAL CUSTOMIZATION
 METHOD**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a user to prepare a menu format of a service menu including a telephone number menu by a simple selecting operation even without special knowledge.

SOLUTION: This communication terminal equipment 100 sends out the individual information of the user including installation place information to a registration/center server 200. The registration/center server 200 selects an area service server and transmits the URL to the communication terminal equipment 100. The communication terminal equipment 100 re-spreads a link to an area server 300, receives telephone number information transferred from the area server 300 and selects the received telephone number information corresponding to user selection. Then, each telephone number information is preserved by the menu form. The registration/center server 200 selects the area server 300 based on the installation place information received from the communication terminal equipment 100.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-331436

(43)公開日 平成11年(1999)11月30日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 M 11/08

H 0 4 M 11/08

G 0 6 F 13/00

3 5 4

G 0 6 F 13/00

3 5 4 A

H 0 4 M 1/274

H 0 4 M 1/274

審査請求 有 請求項の数6 F D (全 11 頁)

(21)出願番号

特願平10-140570

(22)出願日

平成10年(1998)5月7日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 小山 明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

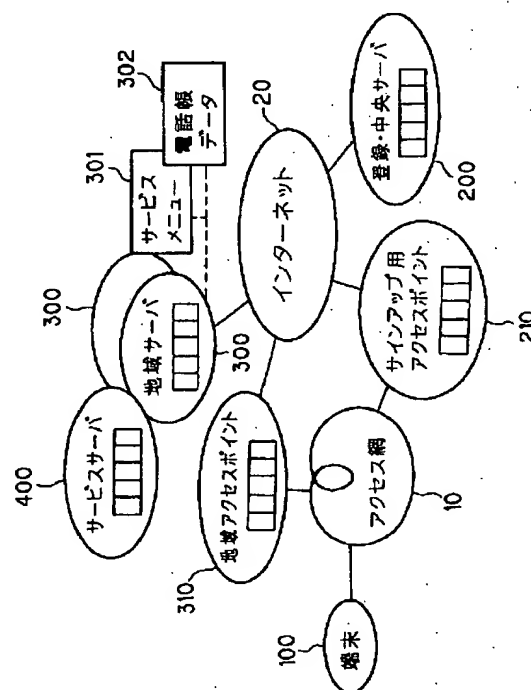
(74)代理人 弁理士 岩壁 冬樹

(54)【発明の名称】 通信端末装置および通信端末カスタマイズ方法

(57)【要約】

【課題】 通信端末装置において使用可能な種々の便利機能が活用されず、ユーザは、通信端末装置の便利機能を享受できていない。

【解決手段】 通信端末装置100は、設置場所情報を含むユーザの本人情報を登録・中央サーバ200に送出する。登録・中央サーバ200は、地域サービスサーバを選択してそのURLを通信端末装置100に送信する。通信端末装置100は、地域300サーバにリンクを張り直し、地域サーバ300から転送された電話番号情報を受信し、受信した電話番号情報をユーザ選択に応じて取捨選択する。そして、各電話番号情報をメニュー形式で保存する。登録・中央サーバ200は、通信端末装置100から受信した設置場所情報にもとづいて地域サーバ300を選択する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話帳機能を有する通信端末装置において、

ユーザ登録を行う登録・中央サーバから通知された地域サービスサーバのURLを受信するURL受信手段と、前記地域サービスサーバから転送されたサービスメニューを受信するとともに、受信したサービスメニューをユーザ選択に応じて取捨選択し、各サービスメニューをメニュー形式で保存するメニュー作成手段とを備えたことを特徴とする通信端末装置。

【請求項2】 メニュー作成手段は、各サービスメニューに対応したチェック欄をユーザに提供し、チェック欄のチェック結果に応じたサービスメニューを選択する請求項1記載の通信端末装置。

【請求項3】 登録・中央サーバとリンクするためのサインアップ用アクセスポイントの電話番号を記憶する記憶手段を備えた請求項1または請求項2記載の通信端末装置。

【請求項4】 電話帳機能を有する通信端末装置をカスタマイズする通信端末カスタマイズ方法において、通信端末装置の設置場所情報を含むユーザの本人情報を登録・中央サーバに送出し、登録・中央サーバによって選択された地域サービスサーバのURLを登録・中央サーバから受信し、前記地域サービスサーバにリンクを張り直し、前記地域サービスサーバから転送されたサービスメニューを受信し、前記地域サービスサーバから受信したサービスメニューをユーザ選択に応じて取捨選択し、各サービスメニューをメニュー形式で保存することを特徴とする通信端末カスタマイズ方法。

【請求項5】 登録・中央サーバは、通信端末装置から受信した設置場所情報にもとづいて地域サービスサーバを選択する請求項4記載の通信端末カスタマイズ方法。

【請求項6】 登録・中央サーバは、設置場所情報にもとづいて隣接地域サービスサーバも選択する請求項5記載の通信端末カスタマイズ方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタルデータによる電話帳を内蔵した電話機やファクシミリ装置等の通信端末装置、および通信端末装置に内蔵されている電話帳やサービスメニューをユーザに使いやすい形式に最適化する通信端末カスタマイズ方法に関する。

【0002】

【従来の技術】電話機やファクシミリ装置等の通信端末装置をユーザに使いやすい形式に最適化するカスタマイズ方法として、例えば、電話機の機能として添付される電話帳に使用頻度の高い相手先電話番号を登録する方法がある。電話帳は、発信時には、小型の画面上で相手先

の個人をスクロール表示し、選択されたラインの電話番号に対して発信する機能を実現するものである。相手先電話番号の登録時の入力形式として、主に、テンキーをアルファベットやカナの入力用に定義し画面と連動して一文字一文字打ち込んでいく形式がとられる。

【0003】画面が大きい場合でも、登録時には、例えば、アルファベットやカナの入力用に画面に表示された簡易キーボードを押して相手の名前や電話番号を順次入力していく。すなわち、説明書や電話帳（冊子）等の情報を元に登録者が手で入力していくのが一般的である。よって、希望する全ての相手先電話番号をユーザ自身の手によって登録するのは面倒な作業となる。

【0004】登録作業に困難性を感じるユーザも多いため、相手先電話番号の登録は保守員によってなされることも多い。また、サービスセンタに入力データを渡し、サービスセンタが入力データにもとづいて作成した電話帳データをダウンロードして端末装置の不揮発性RAMに書き込む方法もある。

【0005】LCDなどの表示器を有するファクシミリ装置やデータ端末装置において、電話帳以外のサービス機能として、例えば、操作手順などを表示器にメニュー表示する機能がある。メニュー表示をユーザに便利のように最適化するには、処理プログラムやデータが格納されているROMや不揮発性RAMを交換する必要がある。それら交換をユーザが行うのは困難なので、一般に、ROMや不揮発性RAMの交換は保守員によって行われる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】従来の通信端末装置は以上のように構成されているので、ユーザ自身の手で通信端末装置をカスタマイズするのは困難である。従って、保守員やサービスセンタにカスタマイズを依頼することになるが、そのような依頼を面倒であると感じるユーザも多い。また、そのような依頼には、一般に費用がかかる。その結果、通信端末装置において使用可能な種々の便利機能が活用されず、ユーザは、通信端末装置の便利機能を享受できていないという課題がある。

【0007】そこで、本発明は、ユーザ自身の手で簡単に通信端末装置をユーザに使いやすい形式に最適化できる通信端末装置および通信端末カスタマイズ方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明による通信端末装置は、ユーザ登録を行う登録・中央サーバから通知された地域サービスサーバのURLを受信するURL受信手段と、地域サービスサーバから転送されたサービスメニューを受信するとともに、受信したサービスメニューをユーザ選択に応じて取捨選択し、各サービスメニューをメニュー形式で保存するメニュー作成手段とを備えたものである。メニュー作成手段は、各サービスメニューに

対応したチェック欄をユーザに提供し、チェック欄のチェック結果に応じたサービスメニューを選択するように構成される。通信端末装置は、登録・中央サーバとリンクするためのサインアップ用アクセスポイントの電話番号を記憶する記憶手段をさらに備えていてもよい。

【0009】本発明による通信端末カスタマイズ方法は、通信端末装置の設置場所情報を含むユーザの本人情報を登録・中央サーバに送出し、登録・中央サーバによって選択された地域サービスサーバのURLを登録・中央サーバから受信し、地域サービスサーバにリンクを張り直し、地域サービスサーバから転送されたサービスメニューを受信し、地域サービスサーバから受信したサービスメニューをユーザ選択に応じて取捨選択し、各サービスメニューをメニュー形式で保存するように構成される。登録・中央サーバは、通信端末装置から受信した設置場所情報にもとづいて地域サービスサーバを選択する。また、登録・中央サーバは、設置場所情報にもとづいて隣接地域サービスサーバも選択してもよい。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。本発明による通信端末装置は、インターネット中に散在するコンテンツを利用しながら簡単にユーザの所望するカスタマイズを行う手段を備えたものである。従って、本発明による通信端末カスタマイズ方法は、インターネットが普及し、電話端末やテレビジョン受像機等にもインターネットをアクセスする機能が付加されることが予想されることにもとづいて、そのようなアクセス機能を利用して、通信端末のカスタマイズを行う方法である。

【0011】図1は、本発明に係る通信端末装置（以下、単に端末という。）100が接続されるシステムの一例を示すシステム構成図である。このシステムには、インターネット20を介してアクセス可能であって端末100の地域登録やサービス登録等を行う登録・中央サーバ200、地域情報を提供する地域サーバ300、各種サービスを提供するサービスサーバ400、端末100のサインアップ時に公衆電話網などのアクセス網10を介してアクセスされるサインアップ用アクセスポイント210、および端末100がインターネット20と接続するためにアクセス網10を介してアクセスされる地域アクセスポイント310が含まれている。

【0012】ユーザが端末100を購入し初期登録を行うときには、サインアップ用アクセスポイント210に接続する。サインアップ用アクセスポイント210は、回線接続後、ユーザ登録、サービス選択および課金方式の管理を行う登録・中央サーバに200自動的にリンクする。そして、通常使われるサインアップ手段によって本人情報の登録と登録・中央サーバ200からのログインID送出等を行う。

【0013】登録・中央サーバ200は、端末100と

接続すると、端末100からの入力情報にもとづいて各種初期登録作業を行う。初期登録作業には、ユーザが受けたたいサービスの選択、電話帳や地域情報サービスを受けたい地域名の登録、および有料サービス受信時の料金支払いの方法の登録等の作業がある。ユーザが受けたたいサービスを変更するときにも、登録・中央サーバ200に対して手続きを行うことによって、登録されているサービス内容の変更、追加、削除が行われる。

【0014】地域サーバ300は、初期登録時には、電話帳データの候補を選択し端末100に送信する。また、サービスメニューを端末100に送信する。その後、端末100の要求に応じて地域サービスを端末100に提供する。

【0015】図2は、端末100の一構成例を示すブロック図である。図2に示された例では、相手先電話番号やメニュー等を表示するためのディスプレイ102、地域サーバ300から転送されカスタマイズされたメニューデータを格納するメニュー用メモリ103、テンキー等の入力装置105からの入力を取り込むためのI/Oポート104、入力装置105からの指令入力に応じた制御を行う制御部101、インターネット通信制御を含む通信制御や回線制御を行う通信制御部106および送受話器（図示せず）に接続された通話回路を含む通話部107を含む。

【0016】次に、動作について説明する。図3は、初期登録時から運用時までのユーザ登録およびサービス登録の手順を示す流れ図である。図3に示すように、電話帳およびサービス登録時には、端末装置100は、端末登録のために、サインアップ用アクセスポイント210にアクセスする。そのアクセスにはフリーダイヤルが用いられる。フリーダイヤルは、例えば、端末1の出荷時に装置内メモリに書き込まれる。端末100を購入時、ユーザは、最初にサインアップ用アクセスポイント210に接続して各種登録を行う。まず、端末100に入力された装置番号等にもとづいて、登録・中央サーバ200において端末登録が行われる。

【0017】次いで、ユーザに対して、氏名、住所の入力が求められる。ここで、住所に代えて郵便番号または市外局番を入力することも可能である。登録・中央サーバ200は、端末100から氏名・住所または氏名・市外局番もしくは郵便番号等の本人情報が転送されると、それらの本人情報を登録する。

【0018】また、本人情報にもとづいて、ユーザが受けたたいと想定されるサービスを選択するとともに、ユーザが電話帳サービスおよび地域情報サービスを受けたいと想定される地域名を特定する。登録・中央サーバ200には、各種の地域データやサービスデータをを提供する地域サーバ300およびサービスサーバ400が登録されている。登録・中央サーバ200は、住所、市外局番または郵便番号をもとに、その地域に存在する地域サ

サーバ300およびサービスサーバ400のURLを割り出す。そして、その地域に存在する地域サーバ300およびサービスサーバ400のURLを端末100に送出する。ここで、ユーザ側に選択の幅を持たせるために、隣接する地域の地域サーバ300およびサービスサーバ400のURL等を含む複数のURLを送出する。また、登録・中央サーバ200は、端末100が地域サーバ300およびサービスサーバ400と接続して電話番号情報やサービスメニューを端末100にダウンロードするためのソフトウェアを転送する。

【0019】端末100は、受信したURLを用いて順次サーバとのリンクを張っていく（リンク変更）。そして、各地域サーバ300またはサービスサーバ400に対して、端末100の登録要求を行うとともに、必要なメニューの送出要求を行う。登録要求に応じて地域サーバ300またはサービスサーバ400は、登録した旨の情報を端末100に対して送出する。

【0020】また、送出要求に応じて、サービスメニューを端末100に対して送出する。具体的には、端末100のソフトウェアと地域サーバ300またはサービスサーバ400側のソフトウェアが連動して、端末側の選択コード送出によるダウンロード要求に応じて、サーバ側から必要なデータが端末100のメニュー用メモリ103に取り込まれる。取り込み処理は、通信制御部106が実行するHTTPプロトコル処理とHTMLデータ処理による。

【0021】ユーザのサービス選択作業が終了すると、ユーザが選択したサービス名が登録・中央サーバ200に転送され、登録・中央サーバ200のユーザデータに登録される。また、サービス源である地域サーバ300またはサービスサーバ400に対する有料サービス受信時の料金支払いの方法の登録が行われる。以上の作業が終了した段階で、登録・中央サーバ200から端末装置100に対して最終のサービスメニューの確認とログインID送出が行われる。ログインIDはユーザの使いやすさを考慮して基本的に全サービス共通であってもよいが、ユーザ選択に応じてサービス毎に異なるIDとしてもよい。

【0022】以上の登録作業が終了すると、端末100の通信制御部106は、サインアップ用アクセスポイント210との接続を切断する。サインアップ用アクセスポイント210とはフリーダイヤルで接続されていたので、登録作業において通信料金はかからない。

【0023】その後、ユーザは、サービスサーバ400や地域サーバ300からサービスの提供を受けたり、電話を行うときに、カスタマイズされた端末100のメニュー表示に従って操作を行う。サービスサーバ400や地域サーバ300からサービスの提供を受ける操作が行われると、端末100は、地域アクセスポイント310に発呼し、端末100に登録済のURLを送出してサー

ビスサーバ400や地域サーバ300と接続する。

【0024】図4は、初期登録におけるより具体的な情報の流れを示す流れ図である。初期登録は、上述したように、サインアップ用アクセスポイント210経由登録・中央サーバ200（通信センタ）への接続から行われる。接続が完了すると、登録・中央サーバ200は、入力フォームを端末100に送信する。入力フォームは、ユーザが本人情報等を記入するためのものである。端末100の通信制御部106が入力フォームを受信すると、制御部101は、入力フォームをディスプレイ102に表示する。ユーザは、入力フォームに従って、氏名・住所または氏名・市外局番もしくは郵便番号を入力装置105から入力する。

【0025】端末装置100は、入力された氏名・住所または氏名・市外局番もしくは郵便番号を登録・中央サーバ200に宛てて送信する。登録・中央サーバ200は、入力データを受信しその内容を端末100に返送してユーザに再確認させる。そして、登録・中央サーバ200は、電話帳データベース302を有する地域サーバ300またはサービスサーバ400のURLを端末100に送信する。端末100は、転送されたURLにもとづいて地域サーバ300またはサービスサーバ400とのリンクを確立し、電話番号情報等をダウンロードして表示する。ディスプレイ102がタッチパネルである場合には、ユーザは、タッチパネルによって、表示された電話番号情報の取捨選択を行うことができる。

【0026】また、登録・中央サーバ200は、そのユーザが必要とすると想定される個別サービスを提供するサービスサーバ400のURLを端末100に送信する。端末100は、転送されたURLにもとづいてサービスサーバ400とのリンクを確立し、サービスメニューをダウンロードして表示する。ディスプレイ102がタッチパネルである場合には、ユーザは、タッチパネルによって、表示されたサービスの取捨選択を行うことができる。

【0027】以上のようにして選択された電話番号情報は、端末100の装置内メモリに電話帳として記憶される。また、選択されたサービスは、端末100の装置内メモリにサービスメニューの形式で保存される。次いで、登録・中央サーバ200は、端末100から上記の登録処理が終了したことの通知を受け、料金支払い等の選択メニューを端末100に送信する。端末100は、選択メニューをディスプレイ102に表示する。料金支払い方法、クレジットカード番号、料金引き落とし口座番号等を入力すると、端末100は、その情報を登録・中央サーバ200に送信する。登録・中央サーバ200は、その入力を受けると、アクセスコード／ID（ログインID）を端末に発行する。

【0028】次に、登録作業の途中で行われる電話帳登録および個別サービス登録についてさらに詳しく説明す

る。地域サーバ300またはサービスサーバ400への接続は、上述したように、登録・中央サーバ200から通知された地域サーバ300またはサービスサーバ400のURLをもとに、該当する地域サーバ300またはサービスサーバ400へリンクを端末100が順次張ることによって行われる。ユーザは、所望の電話帳を作成したい場合に、指定されたURLを有する地域サーバ300に端末100を接続して地域内の電話番号情報を取り込む。

【0029】地域サーバ300から転送されてきた電話番号情報は、通信制御部106を介して端末100の制御部101に入力される。制御部101は、電話番号情報をディスプレイ102に表示する。ユーザは、ディスプレイ102に表示された情報にもとづいてそれらの要不要を判断し電話帳記載項目を決めていく。1つの地域サーバ300が有する電話帳データベース302だけではユーザの要求をカバーできない場合には、端末100の制御部101は、登録・中央サーバ200から通知されている隣接地域サーバの各URLをディスプレイ102に表示する。そして、ユーザ選択に応じて所望の地域サーバに接続し、その地域サーバから電話番号情報をダウンロードする。このように、電話帳作成作業は、端末100のソフトウェアとサーバ側のソフトウェアが連動して動作し、ユーザは、対話型による所望の電話番号情報の選択とダウンロードとを繰り返してカスタマイズを行う。

【0030】個別サービス登録についても同様に、サービスサーバ400から転送されてきたサービスメニューが、端末100のディスプレイ102に表示される。ユーザは、ディスプレイ102に表示された情報にもとづいてそれらの要不要を判断し選択項目を決めていく。1つのサービスサーバ400が有するサービスメニュー301だけではユーザの要求をカバーできない場合には、端末100の制御部101は、登録・中央サーバ200から通知されている他のサービスサーバ400の各URLをディスプレイ102に表示する。そして、ユーザ選択に応じて所望のサービスサーバに接続し、そのサービスサーバからサービスメニューをダウンロードする。

【0031】このように、端末100における個別サービス登録作業は、端末100のソフトウェアとサーバ側のソフトウェアが連動して動作し、ユーザは、対話型による所望の個別サービスの選択とダウンロードとを繰り返してカスタマイズを行う。カスタマイズの結果、端末100のメニュー用メモリ103には、ユーザが必要とする各サービス名からなるユーザ独自のサービスメニューが格納される。

【0032】図5は、端末100のメニュー用メモリ103に作成されたサービスメニューの一例およびサービスメニューにおける表示項目とそれに関連するサーバとの関係を示す概念図である。例えば、基本メニュー50

0には、サービス501～503、電話帳504およびメニュー追加・課金510の項目がある。

【0033】サービス501～503は、該当サービスを示す項目である。メニュー用メモリ103には、サービスに対応したサービスサーバ400のURLもサービス名と対応して記憶されている。電話帳504には、端末100のメモリ内に作成された電話帳とともに、地域電話サービスを提供する地域電話サーバ320の各URLも記憶されている。

【0034】図6は、電話帳の一構成例を示す説明図である。図6に示す例では、電話帳は、地域電話帳部分と個人電話帳部分とからなっている。地域電話帳部分は、地域サーバ300から電話番号情報をダウンロードすることによって作成された部分である。地域電話帳作成時に、各電話番号情報は、図6に示されたように分類されて登録される。すなわち、地域ID601としての市外局番602または郵便番号603で分類される。図6には、市外局番602で分類された例が示されている。例えば、端末100の市外局番と同一の市外局番を持つ電話番号情報が該当地域604のものとして分類され、端末100の市外局番に隣接する市外局番を持つ電話番号情報が隣接地域605のものとして分類される。なお、隣接地域605を、市外局番または郵便番号によって定義するのではなく、ユーザ定義としてもよい。その場合には、地域定義のためのメニュー操作が用意される。例えば、ユーザの嗜好に沿った分類としてもよい。

【0035】該当地域604の各電話番号情報および隣接地域605の各電話番号情報は、地域毎に、電話番号の属性すなわち提供されるサービスに応じて分類される。このような分類は、各電話番号情報をダウンロードするときに、それらに付随する情報を用いて行われる。なお、地域医療、自治体等の各分類において、複数の電話番号を登録することもできる。

【0036】個人電話帳部分は、例えば、家族・親戚・友人登録610の部分と、発信者番号保存613の部分とから構成される。家族・親戚・友人登録610の部分は、ディスプレイ102に表示されるガイドに従ってユーザの個別手動登録611によって登録される。

【0037】また、発信者番号保存613の部分は、ユーザが、手動発呼すなわちフルダイヤル入力による発呼を行ったときに、その番号を自動的に登録することによって作成された部分である。発信者番号保存613の部分の電話番号は、通話終了後に、制御部101が自動登録を実行することによって作成される。または、通話終了後に、制御部101が電話番号を通話の一部とともに一時的に記憶し、その後、ユーザ操作によって登録される方式をとってもよい。その場合には、記憶された通話の一部は、ユーザ操作による登録の際に、確認用として使用される。

【0038】図7は、電話帳作成に着目した登録の処理

を示す流れ図である。登録・中央サーバ200は、端末100から送られてきた住所郵便番号または市外局番をもとに端末100が設置されている地域の電話帳サービスを行う地域サーバ300を特定し、その地域サーバ300のURLを端末100に送信する。端末100は、受信したURLを用いて地域サーバ300にリンクを張り直し、各地域サーバ300に対して端末100の登録要求を行う。そして、必要な電話番号情報の送出要求を行う。図7では、「山田太郎」を要求した例が示されている。

【0039】端末100のユーザは、地域サーバ300から送られてきた各電話番号情報の取捨選択を行い、図7に例示されたような電話帳を作成することができる。なお、上述したように、各電話番号は、電話帳において分類されて登録される。また、電話番号を登録する際に、発呼時の処理方法を発信者番号処理として登録するようにしてもよい。例えば、図7に示された転送(1)は通常の発呼処理を示し、転送(2)は、本人不在時に本人用の音声メールボックスに通話を保存することを示す。さらに、電話番号に応じたURLやEメールアドレスが情報中に存在する場合には、それらも登録される。

【0040】図8は、サービスメニューの登録の際にディスプレイ102に表示される画面例を示す説明図である。地域サーバ300からURLが端末100に転送されてくると、制御部101は、URLに付随する情報(サービス名)等を表示する。そして、各サービス名に対応した要不要のボタンが表示される。なお、制御部101が図8に示されたメニュー画面を表示するためのプログラムは、あらかじめ登録・中央サーバ200から転送されている。ユーザは、要ボタンまたは不要ボタンをクリック(タッチパネルにおけるタッチまたはキー操作による選択)することによってそのURLまたはサービスを取捨選択する。

【0041】また、各サービス名に対応した説明ボタンも表示される。ユーザが説明ボタンをクリックすると、端末100の通信制御部106は、地域サーバ300に対して説明情報を要求する。地域サーバ300は、その要求に応じて説明情報を音声や画像で端末100に送出する。端末100は、説明情報を音声出力したり画面表示したりする。

【0042】ユーザの選択処理(要不要の選択)が終了すると、制御部101は、要とされたURLのみをサービスメニューに登録する。このとき、サービス名毎に分類されて電話番号が登録される。

【0043】次に、以上のようにして作成された電話帳の使用方法について説明する。まず、図5に示された構成のメニューがディスプレイに表示される。ユーザがサービス501～503の項目をクリックすると、端末100の通信制御部106が地域アクセスポイント310

に対して発呼を行い、クリックされたサービスを提供するサービスサーバ401～403にリンクを張る。そして、ユーザは、端末100を介してサービスサーバ401～403のサービスを受けることができる。

【0044】ユーザが電話帳504という項目をクリックすると、地域電話帳選択、個人電話帳、および電話帳更新を選択できる画面が表示される。ユーザが地域電話帳をクリックすると、地域電話帳部分のサービス名の一覧が表示される。ここで、画面には説明ボタンも表示するようにしてもよい。そして、あるサービス名がクリックされると、端末100の制御部101は、通信制御部106に、そのサービス名に対応して登録されている電話番号に対する発呼を指示する。通信制御部106は、その電話番号で発呼処理を行う。

【0045】また、電話帳に記載されている病院やレストラン等の詳細情報を得たい場合には、ユーザは、表示されている説明ボタンをクリックすればよい。すると、通信制御部106は、地域サーバ300にリンクを張り地域サーバ300に対して説明情報を要求する。地域サーバ300は、その要求に応じて説明情報を音声や画像で端末100に送出する。端末100は、説明情報を音声出力したり画面表示したりする。その後、サービス名がクリックされると、端末100の制御部101は、通信制御部106に、そのサービス名に対応して登録されている電話番号に対する発呼を指示する。通信制御部106は、地域サーバ300とのリンクを切断した後、指示された電話番号で発呼処理を行う。なお、端末100に複数回線が収容されているときには地域サーバ300とのリンクを切断せずに、発呼処理を行うことができる。

【0046】個人電話帳がクリックされると、個人電話帳部分の電話番号情報がディスプレイ102にメニュー形式で表示される。ユーザが、ディスプレイ102に表示されている電話番号情報をクリックすると、端末100の制御部101は、通信制御部106に、その電話番号に対する発呼を指示する。通信制御部106は、その電話番号で発呼処理を行う。

【0047】電話帳更新がクリックされると、電話帳作成時と同様に、登録・中央サーバ200に接続され、ユーザは、電話帳作成と同様に電話帳更新を行うことができる。

【0048】電話帳504には、地域電話サービスを提供する地域電話サーバ320の各URLも記憶されているので、最新の電話帳データを確認したり、場所や行き方を確認したいときなどに、地域電話サーバ320にリンクを張ってそれらの情報を地域電話サーバ320から得ることもできる。また、種々の関連情報を得ることもできる。さらに、地域電話サーバ320または地域電話サーバ320にリンクした他のWebサイトに含まれる電話番号を指定して地域電話サーバ320を経由した通

話を行うこともできる。

【0049】メニュー追加・課金510がクリックされると、端末100は、サービスメニューの追加、支払方法の追加または変更を行うために登録・中央サーバ200とリンクを張る。また、地域サーバ300を介して他の地域のサーバにもアクセスできる。

【0050】

【発明の効果】本発明によれば、通信端末装置を、ユーザ登録を行う登録・中央サーバから通知された地域サービスサーバのURLを受信するURL受信手段と、地域サービスサーバから受信したサービスメニューをユーザ選択に応じて取捨選択し各サービスメニューをメニュー形式で保存するメニュー作成手段とを備えた構成にしたので、ユーザは、専門的な知識がなくても簡単な選択動作で電話番号メニューを含むサービスメニューのメニュー形式を作成できる効果がある。よって、ユーザは、通信端末装置の便利機能を楽しむ環境を容易に構築できることになる。さらに、各種の地域サービスサーバの利用率が上がるので、サーバ側も有効に活用される効果もある。また、各種データは回線経由で提供されるので、データの変更や追加時に、ROM交換やソフトウェア入れ替えを行う必要もない。

【0051】また、通信端末カスタマイズ方法は、通信端末装置の設置場所情報を含むユーザの本人情報を登録・中央サーバに送出し、登録・中央サーバによって選択された地域サービスサーバのURLを登録・中央サーバから受信し、地域サービスサーバにリンクを張り直し、地域サービスサーバから転送されたサービスメニューを受信し、地域サービスサーバから受信したサービスメニューをユーザ選択に応じて取捨選択し、各サービスメニューをメニュー形式で保存するように構成したので、通信端末装置がユーザの介入なしで地域サービスサーバか*

*ら各サービスメニューを自動収集し、ユーザの介入なしで、それらを選択肢としてユーザに提供できる。よって、ユーザは、簡単な選択動作で電話番号メニューを含むサービスメニューのメニュー形式をカスタマイズできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る通信端末装置が接続されるシステムの一例を示すシステム構成図である。

【図2】 通信端末装置の一構成例を示すブロック図である。

【図3】 登録時から運用時までのユーザ登録およびサービス登録の手順を示す流れ図である。

【図4】 初期登録におけるより具体的な情報の流れを示す流れ図である。

【図5】 メニュー用メモリに作成されたサービスメニューの一例およびサービスメニューにおける表示項目とそれに関連するサーバとの関係を示す概念図である。

【図6】 電話帳の一構成例を示す説明図である。

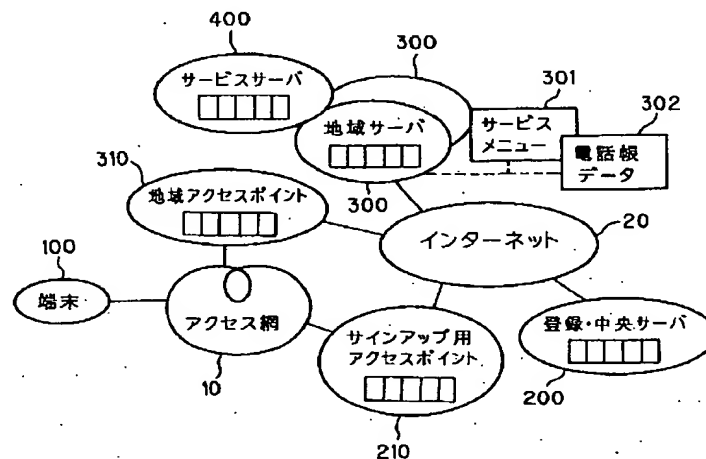
【図7】 電話帳作成に着目した登録の処理を示す流れ図である。

【図8】 サービスメニューの登録の際に表示される画面例を示す説明図である。

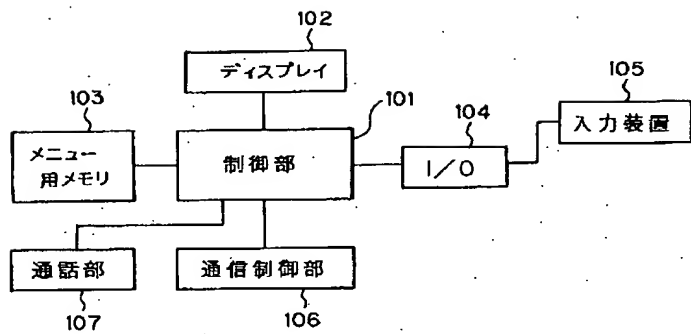
【符号の説明】

- 10 アクセス網
- 20 インターネット
- 100 通信端末装置
- 200 登録・中央サーバ
- 210 サインアップ用アクセスポイント
- 300 地域サーバ
- 301 サービスメニュー
- 302 電話帳データ
- 400 サービスサーバ

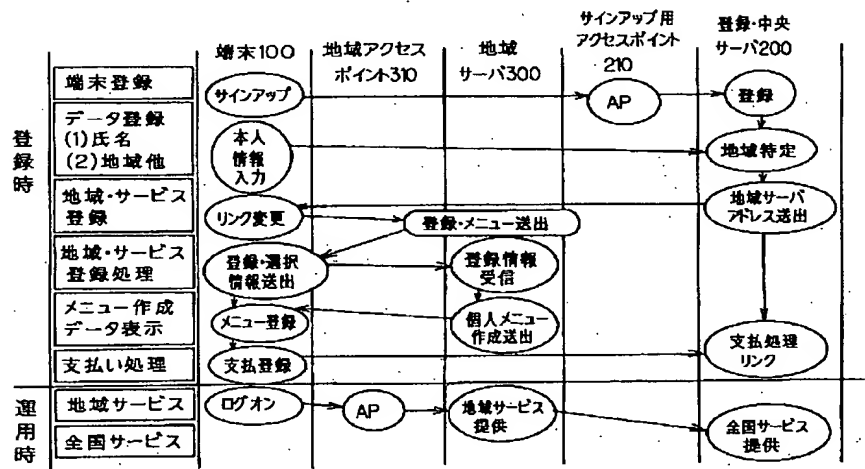
【図1】



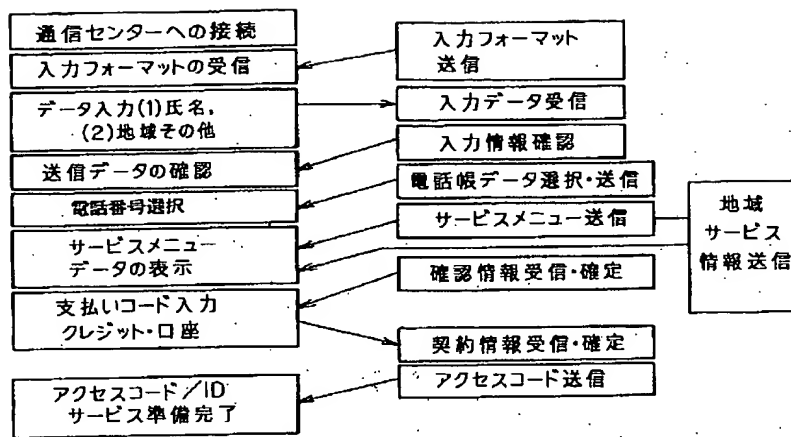
【図 2】



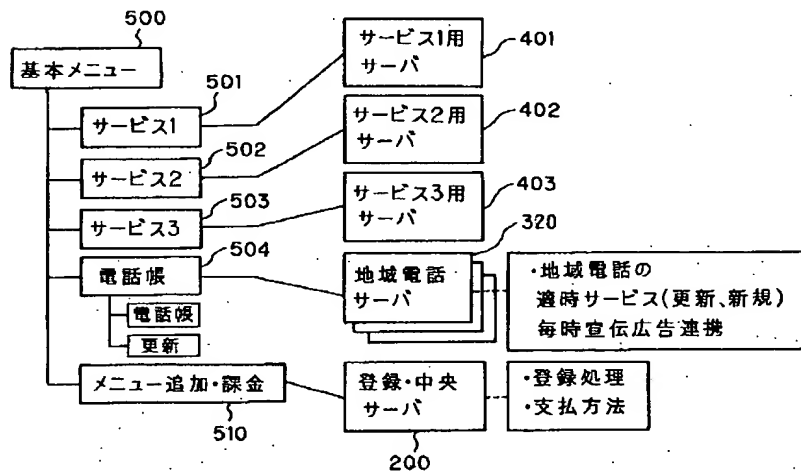
【図 3】



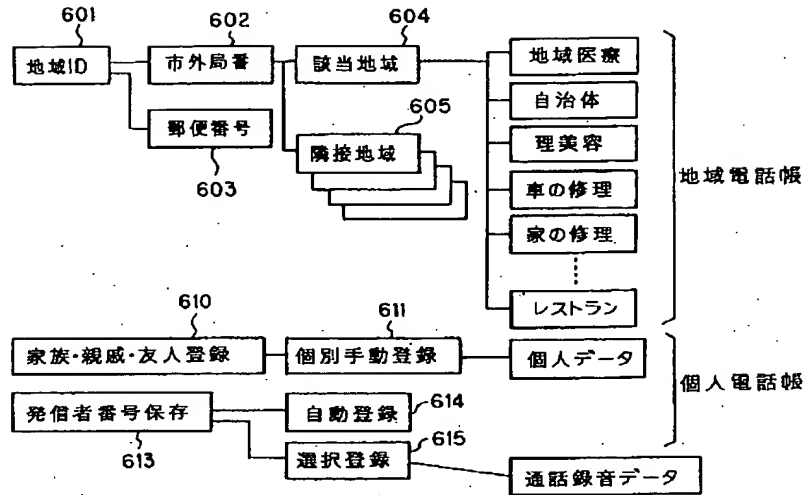
【図4】



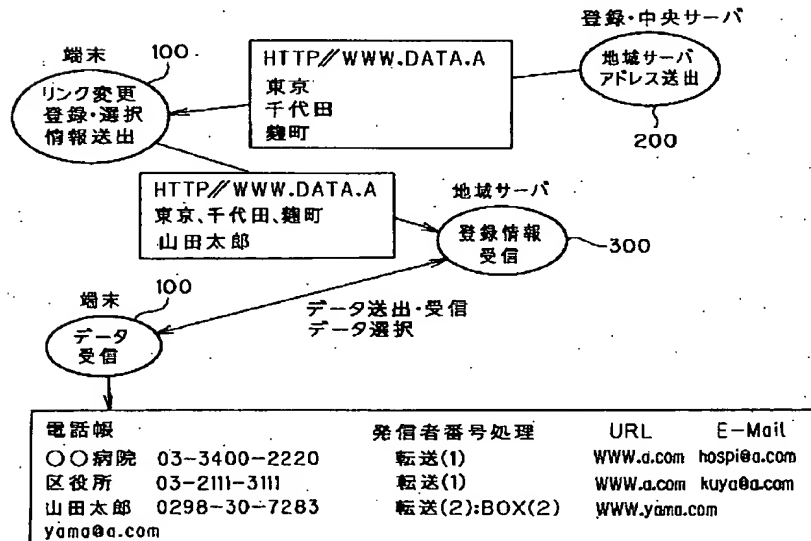
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

サービス名		有料	選択		説明
			要	不要	
新聞配信	AA新聞	○ 2000円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	BB新聞	○ 2000円	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	CC新聞	○ 2000円	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	DD新聞	○ 2000円	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電話帳	地域医療	- - 円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	自治体	- - 円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	理美容	- - 円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	車の修理	- - 円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	家の修理	- - 円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	レ스토랑	- - 円	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>